

2013. 6. 24

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2013年 第1四半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2013年第1四半期)

2013年1-3月のわが国の景気は、大胆な金融緩和期待を背景に円高是正・株高が進み、景況感が改善してきた。

化繊景況は、衣料用はユニフォームの低迷が続き、高密度織物が底打ちしたものの本格的な回復基調には至らず。自動車関連用途もエコカー補助金終了のあと低調に推移し、化繊生産は前年同期比3.1%減の23.9万トンであった。

国内

1) 衣料用はアクリル衣料用の2013年秋冬向け出荷が堅調であったが、婦人ブラックフォーマルが盛り上りに欠け、コンプレッションウェアは飽和感が強く、これまで堅調だったランニング用も一巡感が出た。非衣料用ではカーテン、カーペット用は、新規住宅着工件数が堅調だったものの、製品輸入が主体となり恩恵を受けず。カーシート、シートベルト、吸音材などの自動車関連用途は低調で、タイヤコード用もアジア地域で原糸・織物の過剰感が強く苦戦した。震災復興関連では帆布用に加え、漁網用の需要が収束したが、除染処理用のフレコン向けの出荷が堅調であった。

2) 生産指数は、繊維工業全体では前年比5.7%減、前期比1.0%減、化繊3.6%減、4.8%増。紡績6.1%減、0.5%増。在庫指数(期末)は、繊維工業全体が前期比0.6%減、化繊5.1%減、紡績3.9%減となった。(生産、在庫とも指数ベースの比較)

3) 繊維品輸出は、ドルベースで20.7億ドル・前年比13.2%減、円ベースでは1,916億円・1.2%増。形態別(ドルベース)では、繊維原料・前年比4.5%減、糸類・10.1%減、織物類・14.9%減、二次製品他・17.1%減。仕向地別(ドルベース)では、全体の33.1%を占める中国が17.9%減の6.9億ドル、香港(17.6%減)、韓国(8.6%減)、台湾(9.3%減)、アセアン地域は、ベトナム(8.7%減)、タイ(24.4%減)インドネシア(7.3%減)・マレーシア(18.7%減)となり、それ以外では、西アジア(11.9%増)、欧州(6.7%減)、米州(17.2%減)であった。

4) 繊維品輸入は、ドルベースで96.9億ドル、前年比5.1%減、円ベースでは8,937億円・10.4%増。形態別(ドルベース)では、繊維原料は1.7億ドル・13.8%減、糸類3.1億ドル・12.1%減、織物3.3億ドル・9.6%減、二次製品他88.7億ドル・4.5%減。仕出地別(ドルベース)では、全体の68.9%を占める中国が7.9%減の66.7億ドル、韓国(11.3%減)、台湾(16.4%減)、アセアン地域は、ベトナム(12.1%増)、インドネシア(6.1%増)、タイ(6.5%増)、マレーシア(10.7%減)、それ以外では、イタリア(10.1%増)、米国(0.1%減)となった。

繊維品輸出・輸入実績

項 目	単 位	12. 1-3	12. 10-12	13. 1-3	前年比 (%)	前期比 (%)
輸 出	千 ^{ドル}	2,381,874	2,482,206	2,068,196	-13.2	-16.7
計	百万円	189,348	201,503	191,611	1.2	-4.9
繊維原料	千 ^{ドル}	426,757	384,475	407,616	-4.5	6.0
糸 類	〃	336,819	329,425	302,950	-10.1	-8.0
織物類	〃	741,256	845,742	630,977	-14.9	-25.4
二次製品他	〃	877,043	922,564	726,652	-17.1	-21.2
輸 入	千 ^{ドル}	10,210,743	11,216,690	9,685,076	-5.1	-13.7
計	百万円	809,760	907,995	893,655	10.4	-1.6
繊維原料	千 ^{ドル}	197,208	138,544	169,899	-13.8	22.6
糸 類	〃	356,460	322,175	313,345	-12.1	-2.7
織物類	〃	368,574	364,111	333,070	-9.6	-8.5
二次製品他	〃	9,288,501	10,361,860	8,868,762	-4.5	-14.4
(うち衣類)	〃	(7,895,985)	(8,741,951)	(7,560,481)	-4.2	-13.5
輸出レート	円/ ^{ドル}	79.5	81.2	92.6	16.5	14.1
輸入レート	円/ ^{ドル}	79.3	81.0	92.3	16.4	14.0
(出所) 財務省						

5) 化繊生産は 23.9 万^{トン}・前年比 3.1%減、前期比 0.5%増、うちセルロース繊維は 4.2 万^{トン}・4.2%減、3.3%増。合繊 19.7 万^{トン}・2.9%減、0.1%減。期末在庫は前年比 5.6%減、前期比 10.1%減、うちセルロース繊維が 4.3%増、11.5%増、合繊 7.7%減、14.0%減であった。

化繊輸出（繊維原料～二次製品）は 15.6 万^{トン}・前年比 3.6%減。うち、繊維原料は 8.4 万^{トン}・0.1%減、糸類 3.0 万^{トン}・1.4%減、織物類（面積ベース）1.37 億^{m²}・10.1%減、二次製品 2.1 万^{トン}・7.5%増であった。レーヨン S は 23.6%増、ナイロン F 17.3%増、ポリエステル F 11.6%減、ポリエステル S 18.8%増、アクリル S 6.9%減、織物類（面積ベース）はナイロン F 織物 12.2%減、ポリエステル F 織物 15.9%減、ポリエステル S 織物 0.4%増となった。

化繊輸入（繊維原料～二次製品）は 31.2 万^{トン}・前年比 3.2%減。繊維原料は 1.4 万^{トン}・6.1%増、糸類 4.6 万^{トン}・9.7%減、織物（面積ベース）1.57 億^{m²}・5.2%減、二次製品 22.6 万^{トン}・2.1%減、うち衣類 11.3 万^{トン}・3.7%減となった。ナイロン F は 6.9%増、ポリエステル F 16.1%減、ポリエステル S 17.4%減、ポリエステル紡績糸 3.1%減、織物類（面積ベース）はポリエステル F 織物 17.4%減、ポリエステル S 織物 1.3%増であった。

化学繊維の主要指標

項 目	単 位	12. 1-3	12. 10-12	13. 1-3	前年比 (%)	前期比 (%)
化繊生産	千トン	246.9	238.0	239.2	-3.1	0.5
セルロース	〃	43.9	40.7	42.0	-4.2	3.3
合 織	〃	203.0	197.3	197.2	-2.9	-0.1
化繊在庫	〃	88.9	93.4	83.9	-5.6	-10.1
セルロース	〃	15.2	14.2	15.9	4.3	11.5
合 織	〃	73.7	79.2	68.1	-7.7	-14.0
化繊輸出	千トン	161.7	156.2	155.9	-3.6	-0.1
	100万ドル	1,525.9	1,543.0	1,335.4	-12.5	-13.5
	億円	1,213.5	1,252.7	1,237.3	2.0	-1.2
繊維原料	千トン	83.7	75.3	83.6	-0.1	10.9
糸 類	〃	30.1	29.0	29.7	-1.4	2.2
織物類	百万㎡	151.9	159.9	136.5	-10.1	-14.6
二次製品	千トン	22.4	25.3	20.7	-7.5	-18.0
化繊輸入	千トン	322.4	411.3	312.1	-3.2	-24.1
	100万ドル	4,420.6	5,874.9	4,124.6	-6.7	-29.8
	億円	3,503.6	4,752.9	3,802.5	8.5	-20.0
繊維原料	千トン	12.7	14.6	13.5	6.1	-7.8
糸 類	〃	50.5	47.4	45.6	-9.7	-3.8
織物類	百万㎡	165.7	151.7	157.1	-5.2	3.6
二次製品他	千トン	231.3	323.9	226.4	-2.1	-30.1
(うち衣類)	〃	(117.1)	(185.9)	(112.8)	-3.7	-39.3

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

6) 主要合織品種の動向は次の通り。

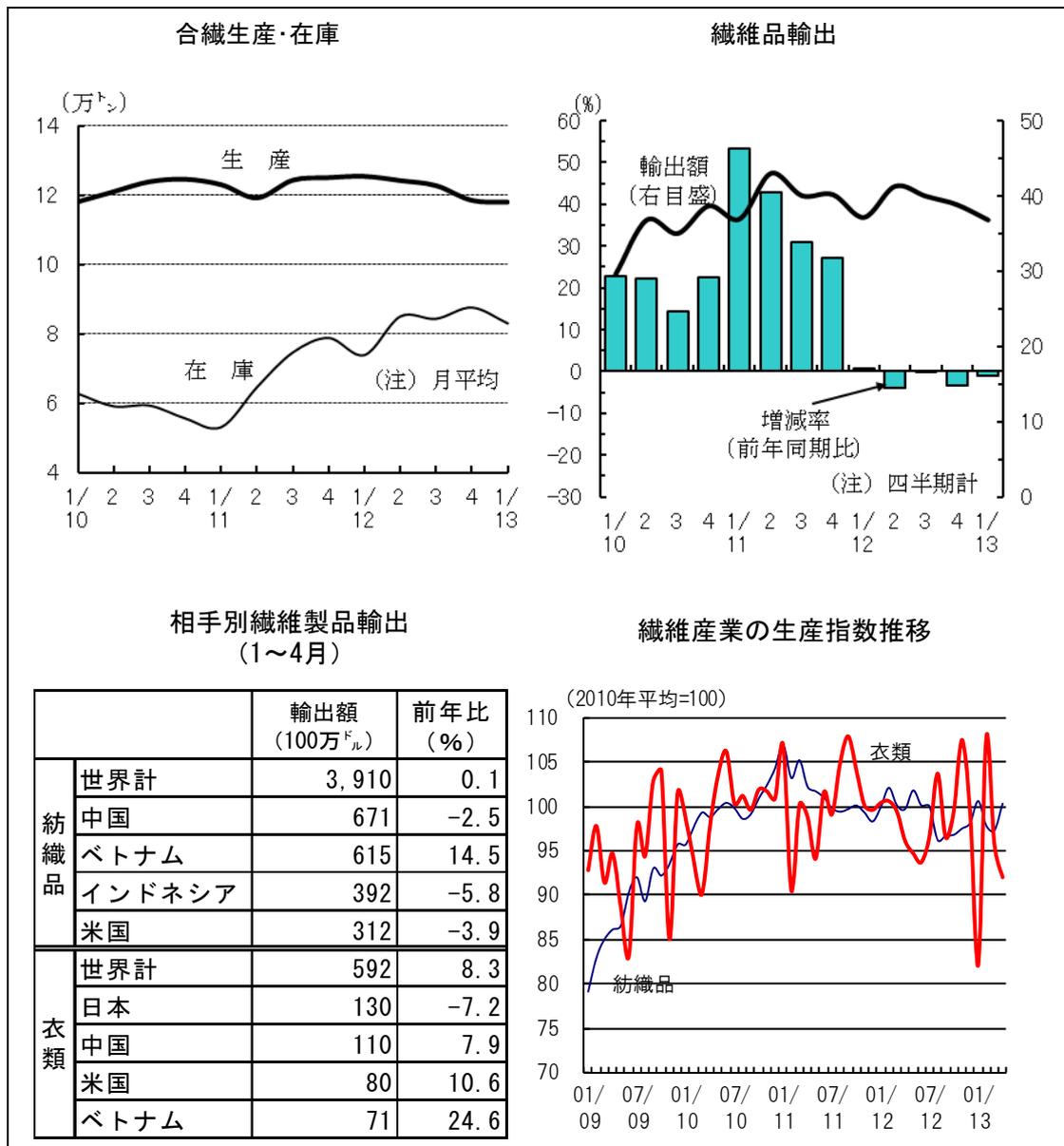
ポリエステルF：生産は38,035トン・前年比10.8%減、織物生産9,223万㎡・11.5%減。ダウンジャケットは表地が「ざらざらしたスパン調」のものが登場し、トレンドに変化が見られた。アウトドアは米国大手ブランド向け輸出が堅調、欧州向けは景気悪化により数量的に苦戦しているが、円高是正/ユーロ高で採算は改善方向にある。婦人ブラックフォーマルは中価格帯のボリュームゾーンが盛り上がり欠けた。コンプレッションウェアは踊り場を迎え、これからは「UVカット」など差別化品で勝負。学校体育用は2012年上半期に前倒し出荷が進んだため、下半期は落ち着いた動きとなった。タイヤコードは、アジア地域で原糸・織物の過剰感が強く、安価な織物輸入も続いているため苦戦。カーシートは、エコカー補助金終了のあと低調に推移し、輸入糸使いの比率が高いため円安は逆風。漁網は復興向け補助金が3月末で終了、それに先行して糸出荷が大幅減となった。被災地の「除染処理用フレコン」向けは今後も需要が継続する見通し。

ポリエステルS：生産は 34,746 トン・前年比 11.6%減。紡績用は綿混が主力のユニフォーム分野の生地・製品の在庫調整が進展せず低迷が続き、レーヨン混／ウール混は資材用が安価な輸入糸に置き換わった。純糸は帆布・重布などの資材向けが不振。製綿用は厳寒にもかかわらず店頭販売が盛り上がり欠け、一方低反発マットレス商品が積極的な販促活動で売り上げを伸ばし、立体構造素材などの特殊素材への引き合いが増えている模様。不織布用は、衛材向けが堅調に推移、安価な輸入品に国内マーケットを浸食されていた生活資材向けは、円安進行を背景に一部で国産品へ回帰の動きが出てきた。パップ剤基布向けは、ニット基布使用のテープ状製品が人気を集めた影響もあり低調。車両資材は、エコカー補助金終了などで落ち込んだ状態が続く。湿式不織布は主力の水処理関係が海外品との競争激化で苦戦、円安進行で改善しつつあるが需要増には至らず。

ナイロンF：生産は 24,129 トン・前年比 3.9%減。織物生産は 3,198 万㎡・同 13.3%減。衣料用は、昨年末に店頭販売が盛り上がったカラータイツが年明けの寒波襲来でポリエステル使いの起毛品へのシフトが進み失速した。高密度織物は在庫調整が進む中、20～30 d 使いのボリュームゾーンが回復、産地では輸入糸と国産糸との価格差縮小により、国産糸を使用する動きが出てきた。欧州向けが主体のアウトドア／ウインターの高級品は、数量的には期待できないが円高是正で採算の改善が見込めそう。タイヤコードは、乗用車用タイヤの減産が続く中、キャッププライ向けが苦戦した。エアバッグは世界的な装着部位拡大により原糸輸出の好調が続いた。ホーサー（船舶係留用ロープ）は、リーマンショック前に受注した新造船の竣工が一巡したため不振。カーペットは、主力のタイルカーペット向けが、年初の 1 月迄は堅調であったが 2 月以降は伸び悩み気味、自動車用マット向けは回復基調を辿った。

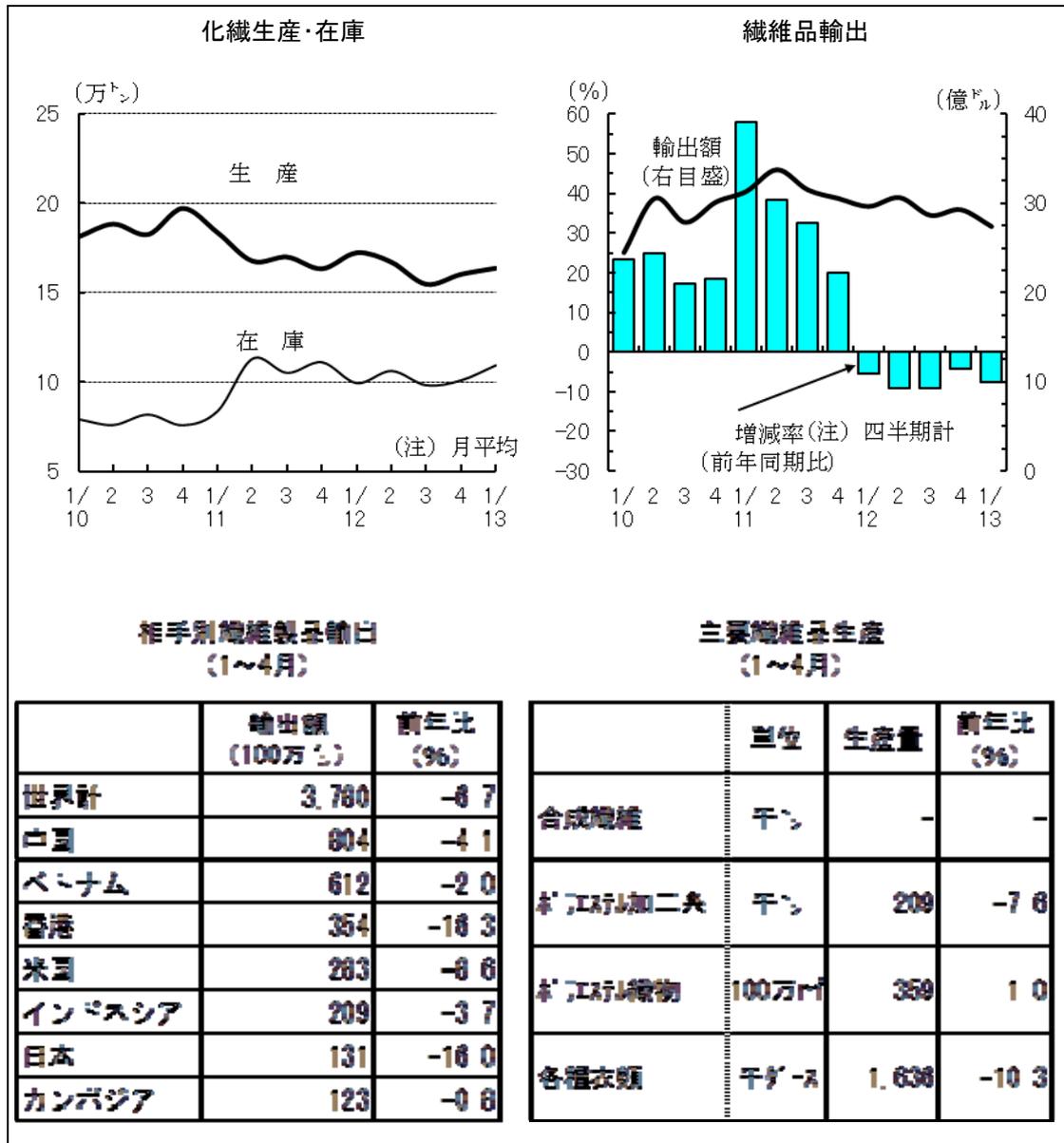
アクリルS：生産は 34,675 トン・前年比 3.8%減。紡績糸生産は 2,026 トン・同 23.1%減。衣料用は、保温肌着、レッグ、マフラー、レッグウォーマーなど大手SPAの商標を冠した 2012 年秋冬向け商品が昨年 11 月の冷え込み以降、店頭販売が堅調に推移、これらアイテムの 2013 年シーズン向けにステープルの前倒し出荷が進んだ。建寝装向けは、毛布がポリエステル化、カーペットもフィラメント化が進み、わずかにファー調のものや抗菌機能のマットが動いている程度。ステープルの輸出は、最大仕向地の中国で中産階級の所得上昇に伴い高品質の日本品に対するニーズが強い中、日本品優位の 2 極化が進み、今年も内需向け輸出が期待できそう。一方、欧州を中心とした再輸出用についても、今年は円安/ユーロ高の進行に加え、2012 年シーズンが世界的な寒波襲来により現地の需要が予想外に堅調だったと伝えられ、回復に向かうと期待している。

7) 韓国



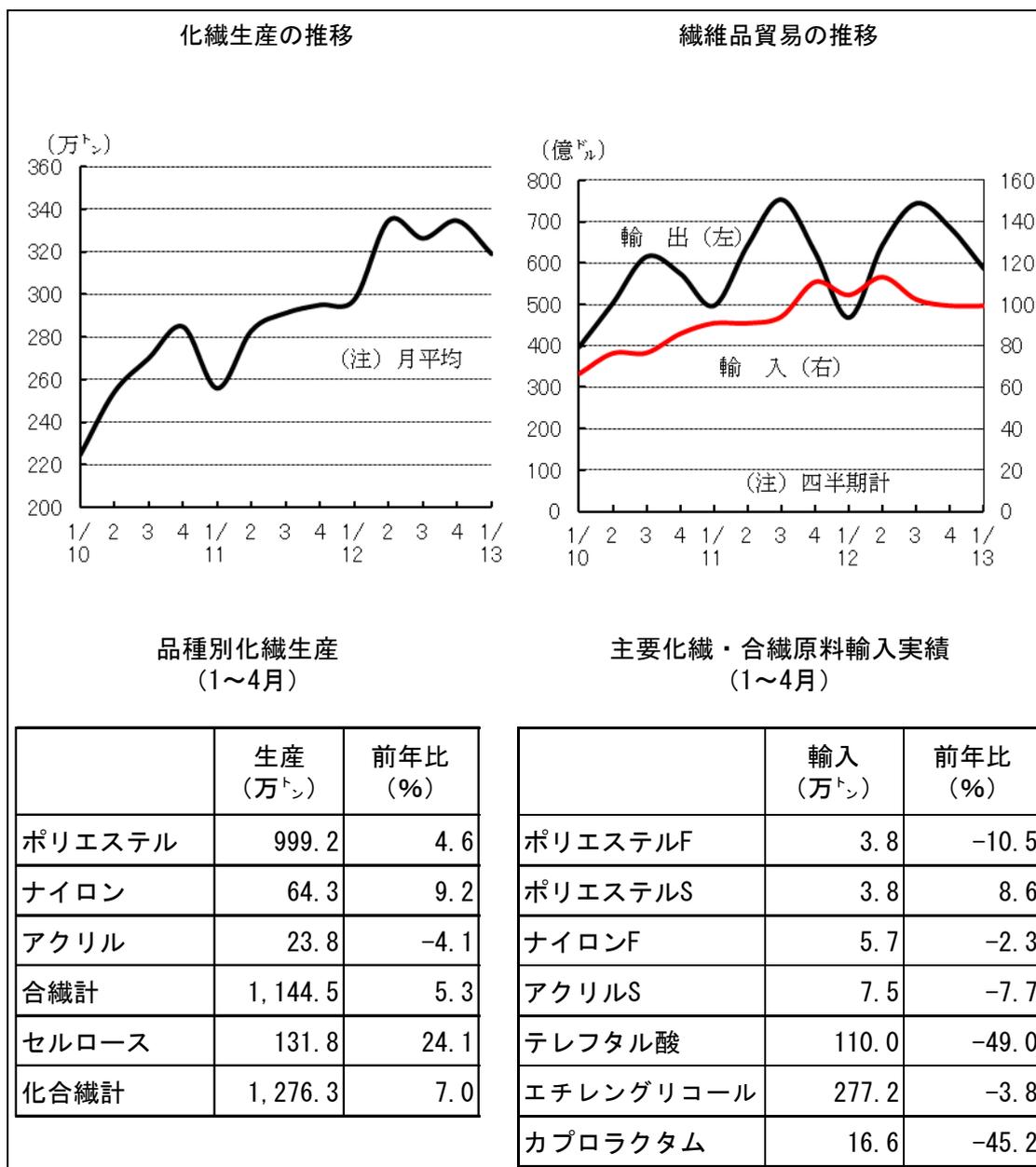
- ◆合繊生産は3期連続、繊維品輸出は4期連続の前年実績割れとなった。
- ◆第1四半期の合繊生産は前年同期比6%減の35万ト(1-2月実績から推定)。一方、期末在庫は8.2万トと高水準が続いている。
- ◆第1四半期の繊維品輸出は前年同期比1.0%減の36億ドルとなった。1-4月の繊維品輸出を相手別にみると、紡織品は全体で0.1%増、ベトナム向けが14.5%増となったが、その他主要仕向国は減少、衣類は全体で8.3%増、米国、ベトナム向けが増加した。
- ◆直近(2013年4月)の繊維品の生産指数をみると、紡織品は前年同月比0.6%増、衣類は4.3%減となった

8) 台湾



- ◆化繊生産は8期連続、繊維品輸出は5期連続の前年実績割れとなった。
- ◆第1四半期の化合繊生産は前年同期比5.0%減の49.1万^トとなった。主要合繊の生産は、ポリエステルS(0.4%増)を除き、ナイロンF(3.4%減)、ポリエステルF(9.1%減)、アクリルS(28.5%減)は、輸出の落ち込みもあり、いずれも前年実績割れとなった。合繊の期末在庫は前年同期比22.2%増の11.8万^トの大幅増となった。
- ◆第1四半期の繊維品輸出は、前年同期比7.6%減の27.4億^{ドル}。1-4月の輸出を相手別にみると、中国、ベトナム、香港など軒並み減少となった。
- ◆1-4月の主要繊維品の生産は、ポリエステル加工糸は7.6%減、ポリエステル織物は1.0%増となったが、衣類生産は10.3%減の2桁減となった。

9) 中国



- ◆ 繊維生産は引続き拡大しているがその伸びは鈍化、繊維品輸出は大幅増となった。
- ◆ 第1四半期の化繊生産は前年同期比 5.5%増の 931 万トとなった。1-4月の化繊生産を品種別にみると、主力のポリエステルは 4.6%増の 999 万ト、ナイロンは 9.2%増の 64 万ト、アクリルは 4.1%減の 24 万ト、セルロースは 24.1%増の 132 万トとなった。
- ◆ 第3四半期の繊維品輸出は前年同期比 25.3%増の 587 億ドル、繊維品輸入は 5.0%減の 99 億ドルとなった。
- ◆ 1-4月の主要化繊、合繊原料の輸入をみると、テレフタル酸、カプロラクタムは国内生産の増加もあり大幅減となった。

相手別繊維製品輸出 (1~4月)			化繊業界の主要指標 (1~3月)			
	輸出額 (億ドル)	前年比 (%)	単位	指標	前年比 (%)	
世界計	825	16.2	社	1,866	-	
アジア	404	24.9	万社	-	-	
香港	60	28.3	億元	1,619	6.5	
日本	89	-1.2	億元	38	-6.5	
韓国	20	12.7	億元	-	-	
アセアン	107	60.9	万人	46	1.4	
EU	134	5.1	億元	-	-	
米国	116	7.3	億元	173	10.9	

社会小売財消費総額 (1~5月)				繊維関連物消費者物価指数 (1~5月)	
	単位	数値	前年比 (%)		前年同期比 (%)
商品売上総額	億元	91,938	12.6	消費者価格指数・全製品	2.4
うち繊維品等	億元	4,515	11.1	消費者価格指数・衣類等	2.4

- ◆1-4月の相手別の繊維製品輸出をみると、EU向けは前年同期比5.1%増と前年の落ち込みからは回復、米国向けは7.3%増、日本向けは1.2%減となった。一方、アジア向けは24.9%増と好調、そのうち、アセアン向けは、FTAの効果もあり、60.9%増と引続き大幅増、韓国向けも12.7%増となった。
- ◆1-3月の化繊産業の主要指標をみると、主要業務収入は前年同期比6.5%増の増収となったが、利潤は6.5%減と減益が続いている。化繊産業の実際完成投資額は10.9%増となった。化繊産業の就業人数は1.4%増の46万人となった。
- ◆繊維産業の衣料用内需の伸びは鈍化したものの、比較的堅調に推移している。1-5月の繊維品商品売上は前年同期比11.1%増となった。また、衣類等の物価指数は前年同期比2.4%上昇した。

合織4品種需要実績

(2013年1～3月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2013年1～3月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	16,909	97.0	83.4
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	45,198	99.5	86.2
	計	62,107 (24,988)	98.8 (93.9)	85.4 (83.9)
輸出 (原糸、加工糸)		3,614	103.2	80.3
需要計		65,721	99.1	85.1
在庫		12,684	83.8	92.1

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2013年1～3月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	4,665	84.1	90.5
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	29,471	91.2	87.4
	計	34,133 (6,122)	93.6 (83.5)	90.8 (82.6)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		8,851	181.0	132.6
需要計		42,984	103.9	97.1
在庫		16,627	74.6	74.0

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2013年1～3月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	8,355	95.1	90.9
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	15,451	102.4	95.6
	計	23,806 (6,419)	99.7 (98.4)	93.9 (106.9)
輸出 (原糸、加工糸)		6,562	115.2	117.0
需要計		30,368	102.7	98.1
在庫		10,339	101.0	115.8

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2013年1～3月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	8,503	180.0	119.4
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	2,119	100.8	77.4
	計	10,622 (230)	155.6 (67.3)	107.7 (68.2)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		26,291	89.4	91.7
需要計		36,913	101.8	95.8
在庫		9,607	88.2	96.6

(注)国内需要の()内数値は輸入量